

すまいるキッズたんぽぽにおける主な療育

領域	課題名	ねらい
健康・生活	基本的な生活習慣	登所後、手洗い・うがいや排泄、制服で帰ってきたお友達とは、制服から体育着や私服に“着替える・畳む・しまう”ことを行い、自立を目指しています。
	日常生活訓練	家庭のお手伝いや就労を見据えて、モップ掛けや食器洗い、タオル・衣類畳み、ゴミ分別、盛り付ける練習などの動作を学びます。
運動・感覚	CSSB訓練	噛むことで咀嚼筋の発達を促し“飲む・吸う・吹く”（舌を動かす・スプーンで吸うなど）ことで呼吸をコントロールし、発語器官の発達も促します。
	音楽あそび	音楽を通して視覚・聴覚・知覚を高めていきます。また、運動機能面（手首の動かし方、力加減など）も考慮しながら、“相手や曲を意識すること（卓上ベルや和太鼓、バルーン）”や“模倣（リトミックや行進など）を育むこと”音楽を通して楽しみながら行います。
	うごきづくり	簡単な姿勢保持を行うことで、身体部分の動かし方や力の入れ方、ボディイメージの形成を通し良い姿勢を身につけます。また、見本を見続ける力も養います。
	感覚課題	前庭覚系 感覚器具を使用し、様々な揺れや回転を経験し、適切な反応を促します。また、前庭覚系に刺激を与えることで、身体のバランス感覚を養います。 触覚系 皮膚感覚への刺激を経験する中で、触覚防衛反応（過敏・鈍感）を軽減します。様々な物を触り、感触を楽しみます。
認知・行動	認知課題	個々に合わせて、数学やお金などの概念理解、文の読み書きなどの言語理解力を育てていきます。また、学習する際の正しい姿勢づくりや人とのやりとりする力を養います。視覚優位を利用していきます。
言語・コミュニケーション	指示性訓練	模型を机の上に置き、少し離れた場所から言葉がけを中心に職員の指示で取りに行きます。言語理解を高めると共に正しく応じる力を身に付けていきます。

領域	課題名	ねらい
人間関係・社会性	歩行訓練	個々の状態に合わせて短・中・長距離と分かれて法人内や公園、夏休みは赤城山などを歩きます。人と合わせて歩く力や正しく歩く力を養います。季節を感じる事や有酸素運動のひとつとして行います。
	グループダイナミクス	音楽に合わせて“歩く・走る・四つ這いなど”を集団で行います。周りの動きに合わせて同じ動作を行います。見て・聞いて・動く力を養うと共に、自主性を育て集団参加の意識や集中持続力も高めます。
	一斉動作	職員の指示や動作を見て、自らとるべき行動を判断する力を養います。また、ボディイメージを高めて正しい身体の動かし方を学びます。